

## 第9章 将来ビジョン

### 9.1 目指す将来像

本市の現況、計画策定にあたっての社会、経済、環境に関する地域課題、および市民・事業者へのアンケートを踏まえ、2050年の目指す将来像と4つの事業構想を整理しました。



図 目指す将来像と事業構想

### 9.2 先導エリアにおける領域横断・特色ある事業構想の推進

次頁に、エリア別の事業構想について、事業目的、事業イメージ、取組展開イメージをそれぞれ整理しました。

① 海洋・港エリア

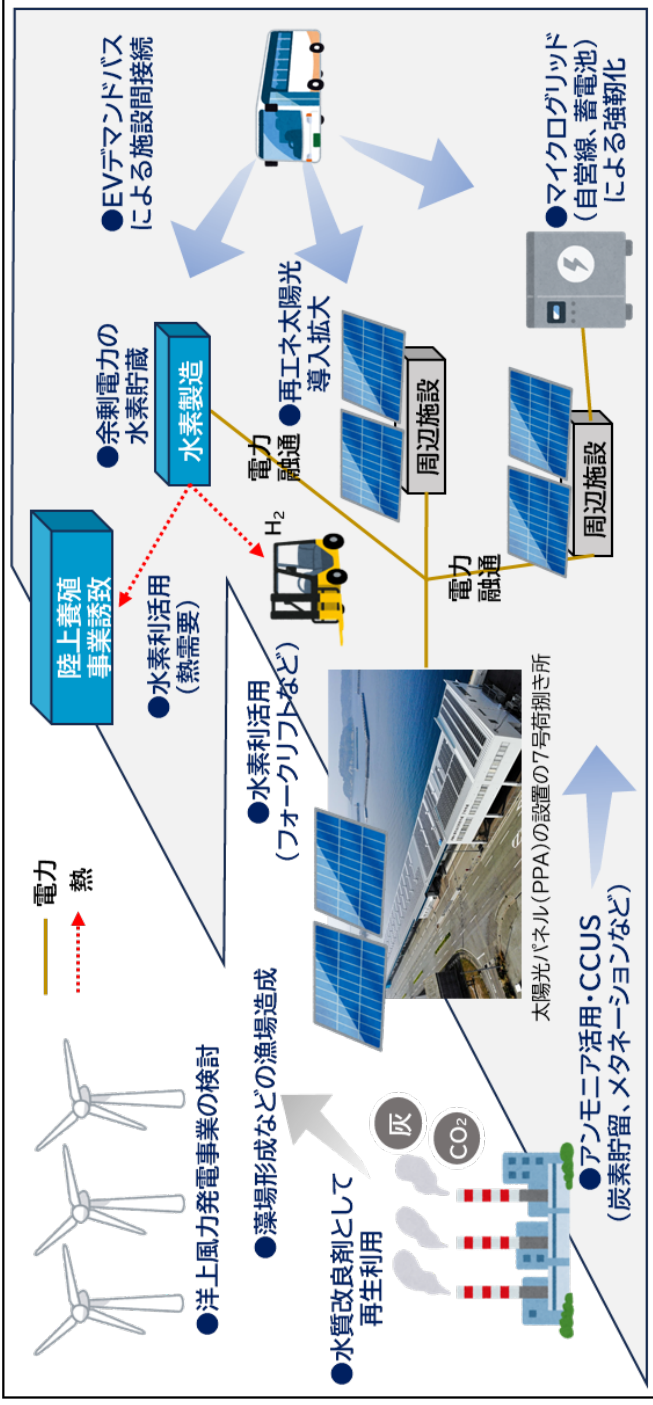
地域と水産業の活性化に資するゼロカーボン漁港

事業構想

事業目的

浜田港や浜田漁港の脱炭素化とブルーカーボン、スマート漁業を進め、水産業振興を目指す

事業イメージ



短期

- 漁港関連施設への再生可能エネルギー(太陽光など)の導入拡大(エネルギーギア-地産地消を通じた地域経済循環の拡大)
- 灰を水質改良剤として再生利用し、藻場形成などの漁場造成

中期

- 漁港エリアでのマイクログリッド(自営線、蓄電池など)による強靭化
- 地域振興・観光振興のためのEVデマンドバスなどによる施設間接続

長期

- 再生可能エネルギー(太陽光、陸上・洋上風力発電)の余剰電力などを活用した水素貯蔵及び水素利用(フォークリフトなど)
- アンモニア活用・CCUS(炭素貯留、メタネーションなど)

②中山間地域エリア

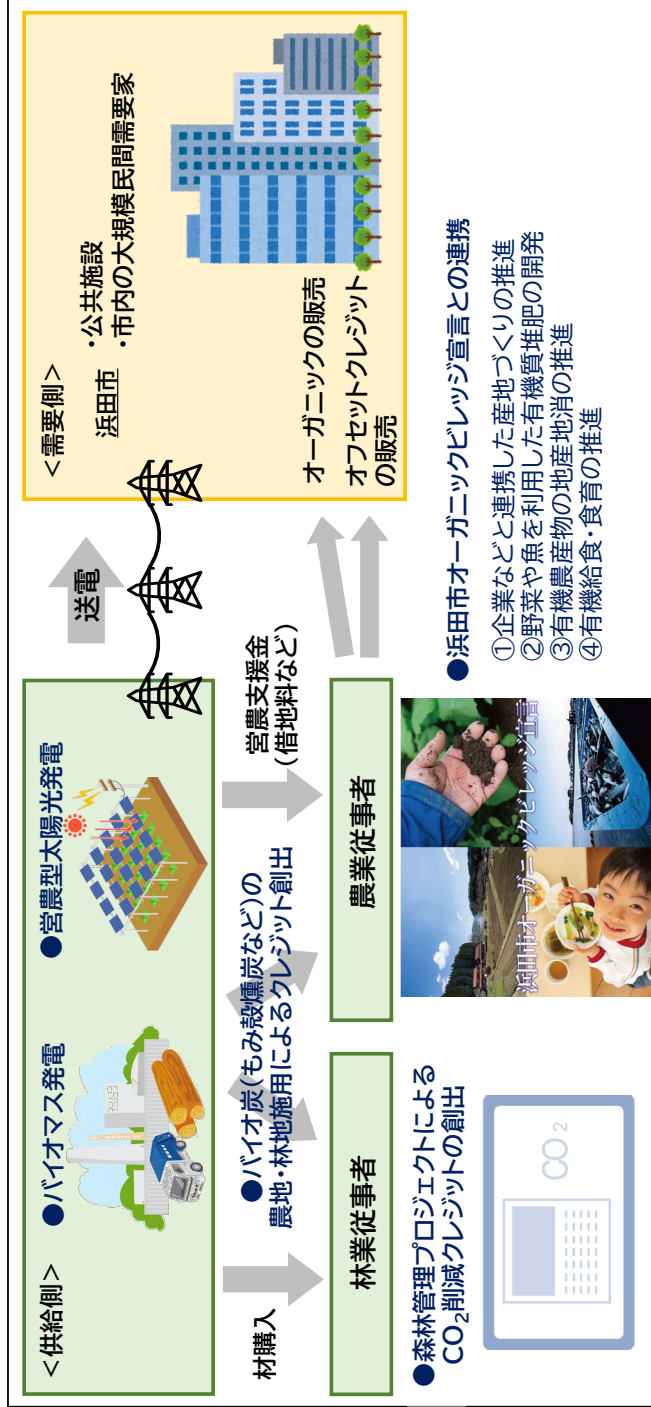
事業構想

農林業活性化に資するスマートビレッジ

事業目的

オーガニックビレッジで脱炭素型農業・林業を推進、中山間地域の振興を図る

事業イメージ



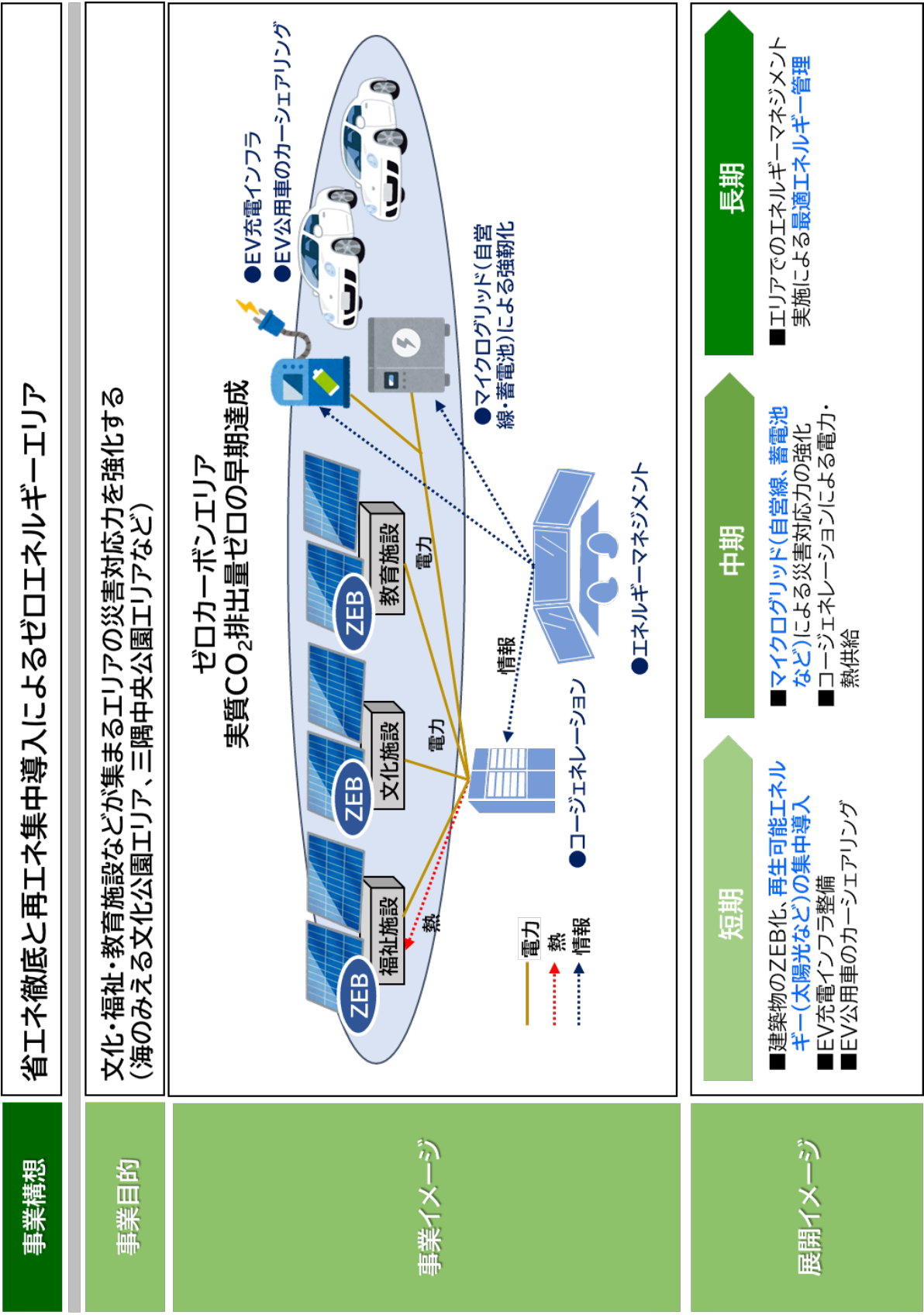
展開イメージ

- 営農型太陽光発電の導入
- 有機農産物の付加価値による耕作者の収入増加
- 営農継続者・新規営農者の増加による地域経済循環効果

- バイオマス発電の計画、導入
- 適正な森林管理の推進によるCO<sub>2</sub>削減クレジットの創出
- 農産品単価の向上によるオーガニック農業への参画者増加

- バイオマス発電で排出されるバイオ炭を土壌施用しCO<sub>2</sub>削減クレジット創出
- バイオマス発電による木材の流通価格安定とCO<sub>2</sub>削減クレジット販売による地域経済循環効果

③大規模公園エリア



## ④火力発電所エリア

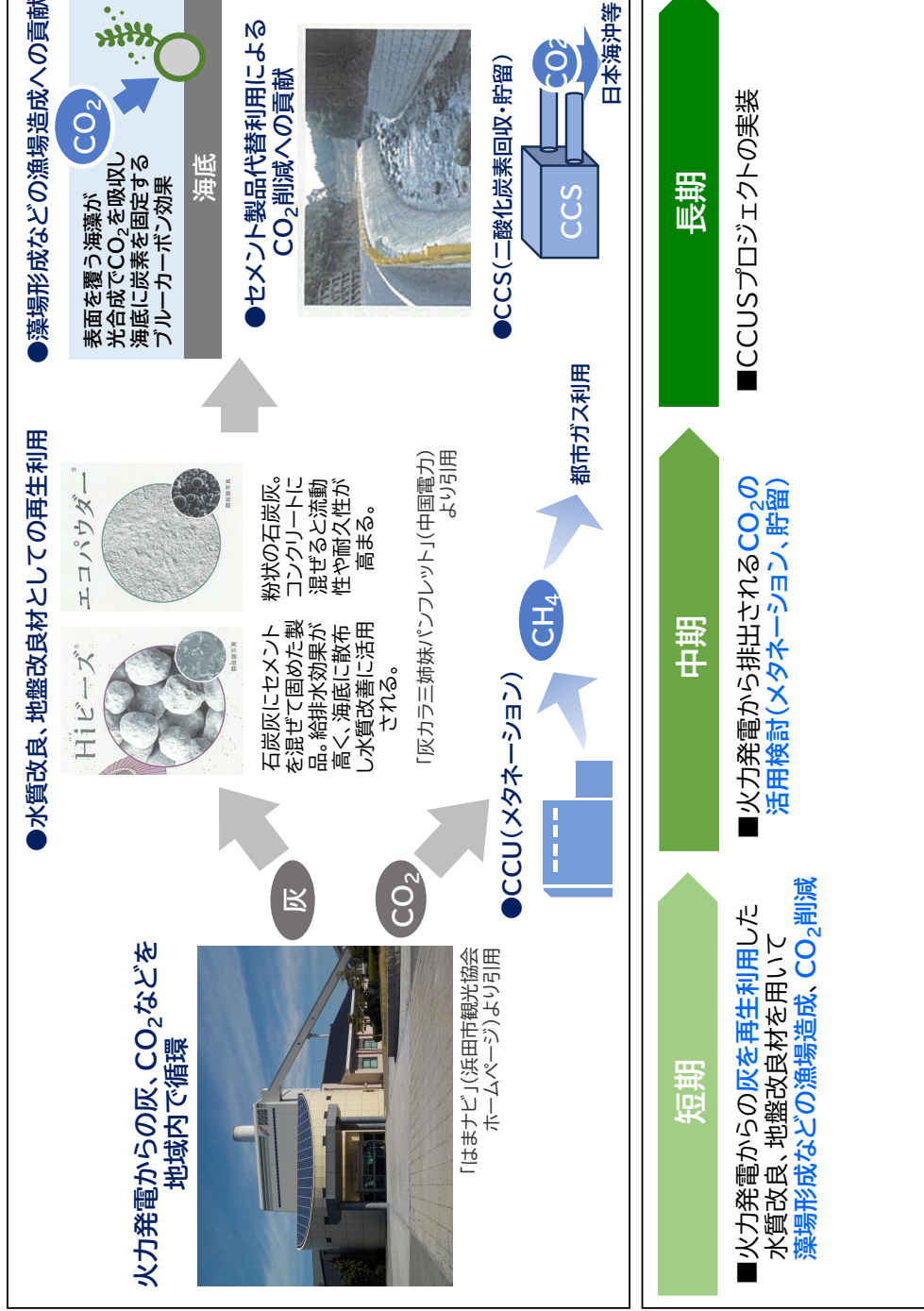
### 事業構想

### 火力発電所排出物を活用した循環型サプライチェーン構築

### 事業目的

国内最大級の火力発電所の排出物(CO<sub>2</sub>、灰など)を利活用して、循環型サプライチェーンを形成する

### 事業イメージ



### 展開イメージ

### 9.3 領域横断・特色ある事業構想を推進するための組織体制・事業スキーム

各事業構想の具体的な検討および推進にあたっては、主体となる事業者、関係企業との連携、行政関係課との連携により、地域に裨益するモデル検討、推進、支援などを進めていく必要があります。

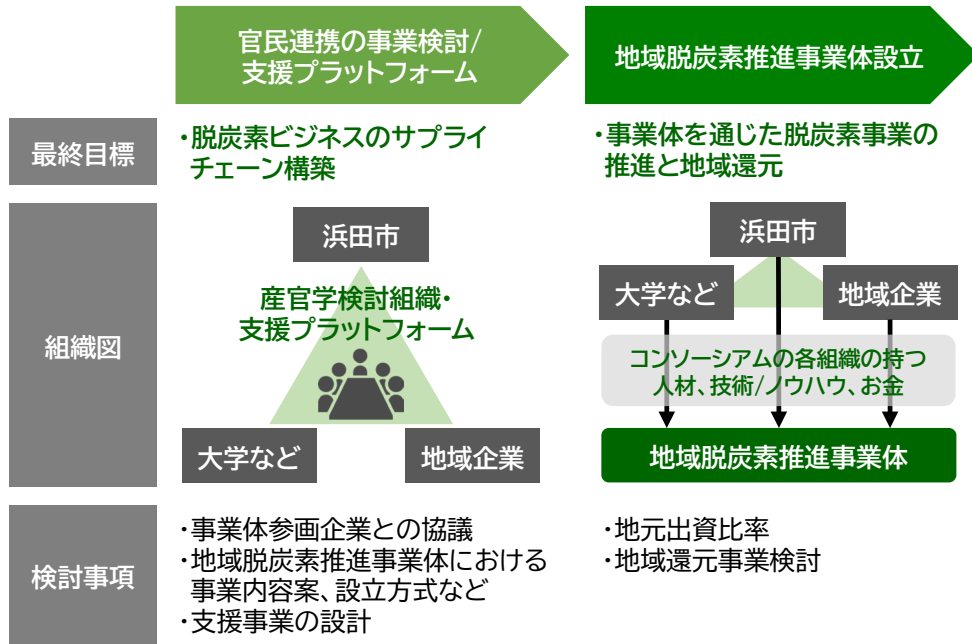


図 産官学連携の支援組織、地域脱炭素推進事業体の目的と検討事項イメージ

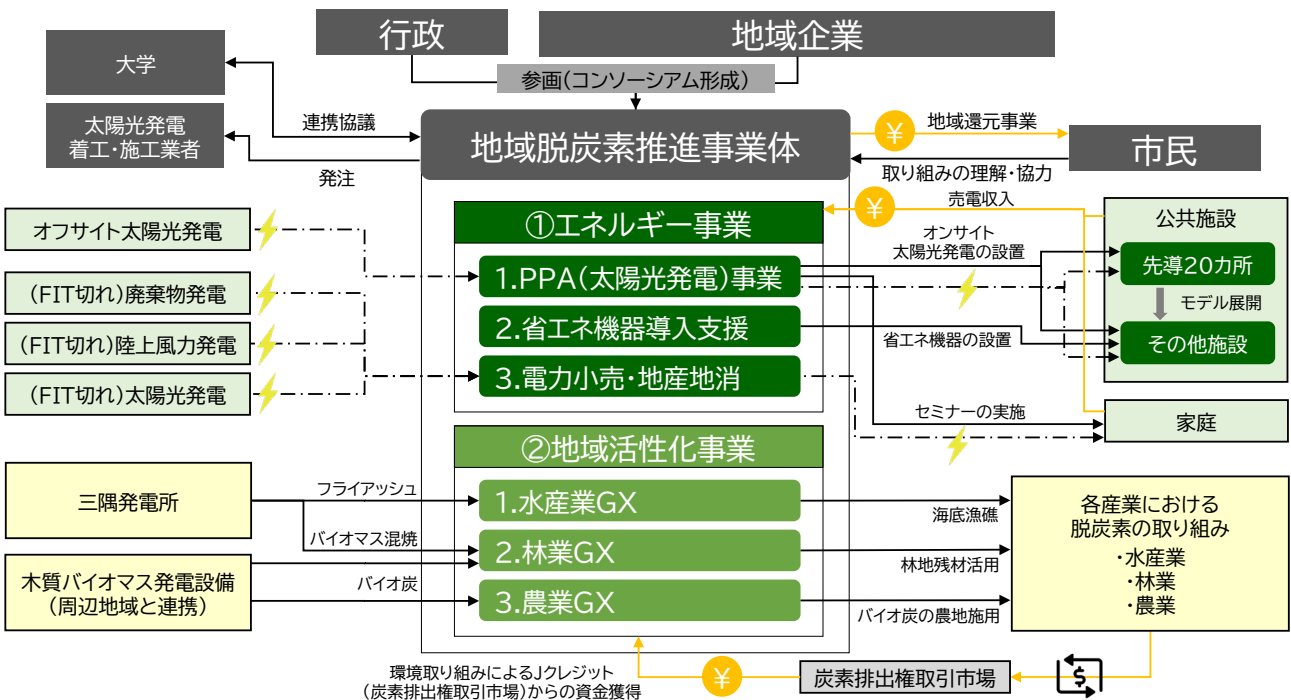


図 官民連携の地域脱炭素推進事業体の事業スキーム(イメージ)